



OSAKA JONAN
JAPAN



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創立 1969. 5. 30
幹事 浅井 晃

会長 中谷 佳正
会報委員長 宮田 正人

Rotary



ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーは世界をつなぐ

2019-2020年度国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マロニー

R 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2440

2019-11-8

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL (06) 6796-9898 FAX (06) 6796-9899
<https://osakajonan-rc.org/>
E-mail: johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06) 6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会

11月8日(第2例会)

●卓話 「企業再生に向けて」

坂出塩田工業がどのようにして、企業の連鎖倒産を回避し、銀行との対応及び、お金のない中での設備投資と企業回復のあらまし。

石濱宏章会員

次週のお知らせ

11月15日(第3例会)

●卓話 「ロータリーあれこれ IV」

今井賢二郎会員

●職場見学 例会終了後 貸切バスで神戸に移動

- ①神戸村野工業高校(私立工業高校)
- ②(株)熊野工作所(機械部品製造業)

●食膳 <中国 円卓料理>

次々週のお知らせ

11月22日(第4例会)

●卓話 「仏壇・葬祭の現状と未来」

泉 浩一会員

先週の記録

11月1日(第1例会)

●出席報告

出席会員 32名 (内免除会員 8名)

会員総数 44名 (同上 15名)

ゲスト 3名

ビジター 7名

計 42名

ホームクラブ出席率86.49%

10月18日(第3例会)補正出席率97.22% (MU4名)

●ゲスト&ビジター(敬称略)

廣瀬彰久 (卓話者)

宮本理恵 (地区米山奨学委員会)

尾崎 孝 (地区RYLA委員会)

大沼洋征 (川崎)

菊池康之・西崎建一・中村 徹

船越耕一 (川崎南)

高橋久之 (川崎幸)

今井茂博 (大阪東)

◆会長の時間◆

(1)地区より地区大会2日目「公開シンポジウム」の参加の呼びかけが来ております。配布パンフレットにありましたように、未来ある青少年に大畠大介氏・鳥谷 敬氏のお話を直接聞く機会を提供し、わかり易く含蓄のある話でもって、必ずや「青少年へのエール」を送ることができる企画となっているかと考えています。つきましては、まわりの方々、ことに子供さん・お孫さんはもとより、お知り合いのスポーツチームの育成者などの皆様に、そしてインタークトクラブと保護者の皆様、ロータークトクラブの皆様、米山奨学生、ロータリー学友会の皆様に、今一度周知して頂きますようお願い申し上げます。参加費は無料となっております。

(2)前年度末に退会されました岡本克持郎さんが去る10月25日、ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。尚、告別式は10月30日に近親者及び親しいご友人で行われました。ご報告申し上げます。

◆バナー交換◆



▲ 当クラブと川崎RC、川崎南RC、川崎RCとのバナー交換

◆幹事報告◆

(1)今月のロータリーレートは、1\$=¥108です。
(2)本日、例会に先立って11:30から開催されました、理事会に於いて承認されました事柄の一部を報告致します。
①卓話の変更
11月8日 予定の田中会員は、繰り上げて9月27日

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

に済んでいますので石濱会員に。11月15日 プログラム委員会の担当予定でしたが、12月13日 予定の今井会員に。11月22日 予定の石濱会員は、11月8日に変更となりましたので泉会員に。11月29日 予定の村上(正)会員が退会されましたので、尾崎(敬)委員長が担当に。

② IM6組フレッシュ・ロータリアン(FR)の件
例会とIM6組FRの会がブッキングした場合、これをホームクラブ出席と認める。

以上が理事会承認されました。

◆ 御 挨 拶 ◆

地区RYLA委員会 尾崎 孝委員長

貴クラブには、来年5月2日から5月4日までの3日間「春のRYLAセミナー」のホストクラブをお務め頂きます。これからその準備で大変忙しくなるかと思いますが、地区RYLA委員会もお手伝い致しますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

卓話

11月1日 <第1例会>

「ロータリー米山記念奨学事業について」

2019-2020年度 地区米山奨学委員会委員長
廣瀬彰久氏（守口RC）



皆様、日頃よりロータリー米山記念奨学事業にご理解、ご協力頂きまして誠にありがとうございます。また、一昨年には財団設立50周年を迎える事が出来ました事、心より感謝申し上げます。

終戦翌年の1946年「日本のロータリーの父」米山梅吉が亡くなり、3年後の1949年、戦争のため解散を余儀なくされた日本のロータリーが国際ロータリーへ復帰します。戦後、落ち着きを取り戻すにつれ、米山梅吉氏の功績を永遠に偲ぶことが出来るよう、何か有益な事業をやろうではないかという声が大きくなってきました。そして1952年、東京RCの古沢丈作会長が『米山基金』の構想を発表しました。これは、アジアから優秀な学生を招いて学費を援助し、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために「平和日本」を肌で感じてもらいたい、というものでした。

こうして、東京RCが始めた『米山基金』はわずか5年で、日本の全ロータリークラブの共同事業として継承され、1967年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。米山記念奨学会は、外国人留学生を対象とする民間の奨学金では国内最大規模です。2019学年度は日本全国で868人が採用され、現在、各ロータリークラブでお世話を頂いています。累計では世界129の国と地域から21,023人を支援しています。2660地区におきましては、本年度は53名の奨学生を迎える事が出来、奨学生の受け入れを希望されるすべてのクラブに配属が出来る体制に一歩近づいたのではないかと思われます。

さて、2019年度の当地区の寄付目標ですが、PETS・地区協議会等において四宮ガバナーがガバ

ナー方針に示されておられますように、本年度も1人当たり30,000円(普通寄付5,000円、特別寄付25,000円)のご寄付をお願い致しております。ロータリアンの皆様から頂くご寄付が1人でも多くの奨学生を迎える原資となっております。これから世界情勢では、国と国との懸け橋となるような、優秀な人材が果たす役割はいっそう大きくなり、米山記念奨学事業の重要性は、更に増していくことは間違ひありません。

これまで日本のロータリアンが蒔いてきた「平和の種」を、今後も絶やすことなく、大きな花を咲かせ続けていくこと、それが我々ロータリアンの使命であると思います。10月の米山月間にわたり、国際人材育成事業としての米山記念奨学事業の素晴らしさを改めてこの機会に再認識をお願い申し上げ、更なるご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

にこにこ箱

11月1日(第1例会)

- 川崎から、参りました。ゴルフの帰りで服装等恐縮しております。川崎南と貴クラブは香港島東RCを通じてこれからも親しくさせてください。宜しくお願ひ致します。
川崎幸RC高橋、川崎RC大沼、
川崎南RC菊池・西崎・中村・船越 計6名様
 - 川崎南RC、川崎RC、川崎幸RCの皆様、遠方よりようこそお越し頂きました。
 - 地区米山奨学委員会 廣瀬委員長・宮本委員、地区RYLA委員会 尾崎委員長、本日はよろしくお願ひします。
中谷会員
 - 米山記念奨学事業に関し、地区委員長 廣瀬彰久会員に卓話をお願ひしました。
ご静聴をよろしく。
山口会員
 - 地区RYLA委員長 尾崎様、ようこそいらっしゃいました。
梅崎会員
 - 川崎南RC、川崎RC、川崎幸RCの皆様、遠方よりようこそおいでくださいました。
 - 廣瀬委員長、宮本様、卓話よろしくお願ひします。奨学生スピーチ、また城南は最後の方でしたね。次は暴れます。
西谷会員
 - 米山奨学委員会の廣瀬委員長、宮本さん、ようこそお越しくださいました。廣瀬委員長、本日の卓話よろしくお願ひします。
岡部(倫)会員
 - 尾崎委員長、廣瀬委員長、ようこそいらっしゃいました。
松田会員
 - 体調不良で例会を欠席しました。本日やっと出席できました。
佐々木会員
 - ドバイに行ってきました。世界一の高いビルのエレベーターに乗りましたが、1万2,000円しました。
内藤会員
- その他、お祝い10件

(編集担当 岩永・石濱)

会員増強にご協力を!!